

## 千葉市水道事業中長期経営計画（案）に対する意見と市の考え方

No	意見(原文)	市の考え方	修正
1	<p>この計画は、千葉市の今後の水道事業の進め方、予算の具体化について計画したものであると思われませんが、上水の利用者、一住民として意見を申し述べます。</p> <p>小生は、緑区在住であり、毎日上水を利用させてもらっている者です。水道局の担当者の皆さんを始め関係者の多くの方々、ご苦労様です。お世話になっており、感謝申し上げます。</p> <p>事業計画を拝見しますと、令和3年度からこのような事業計画で水道事業を進めていきたいという事ですが、末端の給水先である各住民の家庭の水に係る<u>トラブル問題についての住民配慮が欠落しているように思います。</u></p> <p>もとより、各戸の量水器より内側は各個人の各家庭の問題ではありますが、（問題を限定してとらえますと）、漏水・故障、破損等各種事故が各家庭には発生すると思われませんが、これ等に対する供給側管理者の指導体制が無いようです。同計画書には記載されてません。</p> <p>同計画書4ページにもあるように、市民の95%が千葉県企業局の水利用であります。県水では、”お客様センター”が設置されていて各種相談に応じている様です。千葉市水道局においては、同程度のサービスを求めることはありませんが、電話対応ぐらひはしていただいて、指導を得たいところです。県水の利用者とは、差がありすぎます。</p> <p>以上、一住民、利用者からのお願いです。</p>	<p>ご意見のありました漏水等の対応については、<u>市水道局が対応する範囲とお客様に対応をお願いする範囲を、市水道局ホームページにて周知しております。</u></p> <p>また、お客様からのお問い合わせ等については、職員と、市が業務委託している業者が24時間電話対応する体制を取っております。</p> <p>更により良い住民サービスを提供するためにも、今回頂いたご意見を職員で共有し、住民サービスの向上に努めて参ります。</p>	なし
2	<p>・ページ27 自家発電能力について</p> <p><u>どれぐらいの発電時間をベンチマークとしているのか？</u></p>	<p>施設ごとに自家発電能力が異なりますが、<u>備蓄燃料で概ね24時間の給・配水が可能です。</u></p> <p>停電後は、燃料を補給しつつ継続した給・配水を行います。</p> <p><u>過去の災害による停電等の経験を活かし、更に長時間の給・配水が可能となるよう、整備手法等を検討したうえで、整備を推進していきます。</u></p> <p>また、今後も優先的な燃料補給が可能となるよう、関係団体との協定を継続していきます。</p>	なし
3	<p>・ページ29水道広域化推進プランの策定の工程を示してほしい。また広域化によってどれぐらいのコストダウンが図れるのか推測を示してほしい。支出の多くが老築化更新であるとするとう広域化によってメリットが出るとは思えない。</p>	<p>水道広域化推進プランは、厚生労働省が各都道府県に対し、令和4年度までに策定することを要請しております。この要請を受け、現在、千葉県が策定に向けた作業を進めており、このプランの中で広域化の効果が示される予定です。</p>	なし
4	<p>・水道設備の統廃合について</p> <p>今の収益を考えると効率化を行う必要性は理解できるが地方創生という観点においては持続可能な水道事業を展開してほしい。</p> <p>新型コロナの影響によりテレワークなどの働き方が浸透し、地方に住む人が増える可能性がある。水道事業単体ではなくて千葉市、千葉県という大きな視点において地方がより魅力的な状態を維持できるように水道インフラを可能な限り維持、向上させてほしい。</p>	<p>持続可能な水道事業とするためには、経営の効率化が不可欠と考えており、効率化を図る一施策として、<u>施設の統廃合を検討していきます。</u></p> <p><u>給水区域を維持したまま、他施設に機能を集約する等、効率的な運用ができるよう検討していきます。</u></p>	なし
5	<p><u>水源である河川や湖沼（印旛沼）で、水質汚濁が生じた場合、どのように対処するのか。</u></p>	<p>市水道局は、水源の多くを県営水道からの浄水受水で賄っております。</p> <p>一般的に、水源である河川や湖沼等の水質の安全性は、定期的な水質調査の実施や水質事故時の連絡体制の確保、水質保全に関する協議会等への参加などにより、確保されております。</p>	なし